

【市外小学校の部 伊良子清白賞】

三日月の夜、海で

明和町立齋宮小学校 五年

金城 純菜

三日月の夜、海のはまべを歩いてた
そよそよと 気持ちのいいしお風がほほをな
でる

はまべを歩いてたら つかれてきたので
砂の上ですわり 休んだ
足もとを カニの親子が通りすぎ
沖のかなたのほうで トビウオが飛んでいた
ふと 横を見ると なにやらキラキラ光って
る

貝がらだ 私は それをひろい ポケットに
入れた なぜか貝がらが じんわりとあた
たかいような気がした
そして 家に帰ろうとしたとき
どこからかは分からないが
ウミネコの さびしげな鳴き声が聞こえてき
た

なぜだろう

あの三日月の夜、海でひろった貝がらは

まだ　じんわりと　あたたかさが残っている
　　ような気がする

ウミネコの　さびしげな鳴き声も　耳の中に
　　はっきりと残っている

なぜだろう